

# 一般質問

## 市政を問う

## 11 議員が質問

各議員の顔写真の下にQRコードを掲載しています。このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の一般質問動画をすぐに視聴することができます。

### 柏原 功 議員(7ページ)

1. あま市の風疹対策について

### 森 耕治 議員(7ページ)

1. 体育施設の適正な利用や環境などについて

### 松下 昭憲 議員(8ページ)

1. 再任用制度について

### 野中 幸夫 議員(8ページ)

1. あま市新庁舎について
2. 市営住宅について

### 亀卦川 参生 議員(9ページ)

1. 公共施設再配置計画は正確に記載を
2. あま市のごみ減量への努力を求める
3. 国保税を引き下げるためあま市の努力を求める



### 橋口 紀義 議員(9ページ)

1. 市の行政サービスについて

### 山内 隆久 議員(10ページ)

1. あま市行政の人事体制について

### 足立 詔子 議員(10ページ)

1. あま市の障がい者福祉について

### 横井 敏夫 議員(11ページ)

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略は

### 山本 雄一 議員(11ページ)

1. インフラ整備について
2. 財政状況について

### 宮地 直宣 議員(12ページ)

1. 道路整備について

## あま市の風疹対策について



柏原 功 議員



**問** 国内では風疹の患者数が平成30年7月中旬以降急速に増え続け、11月中旬には、2千人を超えている。国は対策を取り始めている。あま市の現状と対策は。

**市民生活部長兼市民課長** 平成30年11月21日現在、津島保健所管内で風疹患者の発生はないが、県内では103人発生。市の対策としては、市公式ウェブサイトに於いて風疹の発生状況や感染拡大防止の注意喚起を掲載しており、広報1月号にも掲載。また、出産経験がなく、妊娠を希望する女性で、①過去に風疹にかかったことがない②風疹ワクチンの予防接種を受けたことがない③風疹の抗体検査の結果、抗体が十分でない、という条件を全て満たす方に予防接種費用の助成を行っている。さらに、母子健康手帳交付の際に風疹の予防接種を受けたことがない妊婦の

夫などに対し、任意で抗体検査、予防接種を受けることについて周知している。

**問** 名古屋市では妊婦の夫などが予防接種を無料で受けられるが、あま市でも無料にできないか。

**健康推進課長** 接種費用を無料にすることは現在考えていないが、妊娠を希望する全ての女性が妊娠中に風疹にかからないようにすることを考え、予防接種費用助成の要件拡充について検討をしている。



## 体育施設の適正な利用や環境などについて



森 耕治 議員



**問** 消耗、老朽化した体育施設の修繕についての計画がないままだが、どのように修繕をしていくのか。蜂須賀グラウンドの危険箇所のような場所についても早急に対応してもらえないか。

**スポーツ課長** 施設利用に当たり危険度の高いものや、優先順位が高いものは積極的に修繕を行い、よりよい環境を提供できるように努めていく。大規模改修が必要なものについては、積極的に予算要求を行い計画的に取り組んでいく。

**問** 公共施設の修繕には、市民の税金が使われている。市に提出されている登録名簿と現実の施設利用者が違うなど、不正利用をしている団体に対する対応は。

**スポーツ課長** 今後は、団体登録申請書が提出された段階で、登録条件を満たしているかをさらに厳しく確認する。

必要があれば現地に赴き、調査を行い、条件を満たさない団体の利用がないようにチェック体制を強化していく。

**問** 学校施設の予約は、スポーツ課よりも学校が優先される。不正利用をしている団体に学校側が勝手に許可を出していたら問題解決にならない。学校側にも強く意識してもらいたい。

**学校教育課長** 校長、スポーツ課、学校教育課が連携を強化し、また、市長会を通じて各学校に対して指導をし、適正な運用を徹底していく。



危険箇所を指摘された蜂須賀グラウンド

## 再任用制度について



松下 昭憲 議員



子を食べながら本を読み、終業時間の10分、15分前からタイムカードの前で終業のチャイムを待つ。この職員が定年を迎え、ようやく税金の無駄遣いがなくなっただかと思ったら再任用。審査会は何を基準に選考しているか。再度審査会を開くべきでは。

**問** 職員の再任用は、定年後の年金支給開始年齢が引き上げられることに伴う無年金期間への対応と、培ってきた技能、知識を若い職員に継承するといふ大きく2つの意味において制度化されていると思うが、その選考はどのように行われているか。

**企画財政部長** 再任用を希望する職員が申込書を提出し、再任用選考審査会（審査会）において選考している。退職日以前の2年間において公務災害を除く病気休暇の期間が通算6月以上ある者、懲戒処分を受けた者および3日以上欠勤のある者については選考から除外し、知識経験、職に対する適性といった人事評価結果を総合的に勘案し選考している。

**問** 今回定年退職となるA職員は、職員の誰もが知っていることだが、仕事を全くしない。仕事中に寝転んでお菓

**企画財政部長** 選考は、人事評価制度に基づく上司の評価に重きを置き判定している。再度、審査会を実施する予定はない。

**副市長** 評価内容の答弁は差し控えるが、再任用に見合う評価がされていた。



## あま市新庁舎について



野中 幸夫 議員



防止検討委員会を立ち上げ、契約に関する規程などの改正情報をよりわかりやすくするとしたばかりで約款と違う状況が生まれている。責任をどう果たすか。

**問** 市本庁舎基本設計委託業務特記仕様書では、67億7千万円が上限額となっていたが、2018年7月に81億7千万円に変更になった。市公共土木設計業務等委託契約約款（約款）で、変更は書面によるとなっているが。

**副市長** 書面による通知は、行っていないかった。

**問** 約款どおりではなかったことが、明らかにになった。契約は成り立たないのではないか。また、情報公開請求に対応できないので、どういう経過で変更されたか住民が検証できないが。

**副市長** 書類がなくても発注者と受注者の合意形成はあったと判断しているので契約は成り立つ。情報公開に対応できる資料を作ることが、行政として必要であった。不備な点があったと理解している。

**問** 市営住宅の不適切会計処理で再発

**副市長** 契約事務について、職員が正しく理解して事務執行することを徹底することが役目だと思っている。上限額が変わったことは、市長を含め確認している。また、約款に記載されている書面が整っているかの確認を私が担当部長へすべきかは疑問。責任をどう果たしていくかは別の話。

**市長** 新庁舎整備に向けて、きちんとしていくことが私の責任。

### 市営住宅について

**問** 市改良住宅（市営住宅）条例には、入居者の費用負担の項目があるが、詳しい内容を条例に基づく要綱などで定めているか。入居者と市との負担が明確になっていないが。

**企画財政部長** 要綱は定めていない。

**人権推進課長** 費用負担を明確にするために、要綱などを作成中。

## 公共施設再配置計画は正確に記載を



亀卦川 参生 議員  
・公共施設再配置計画



総務部長 避難所の確保は、重点項目として検討している。

問 七宝地区には河川に囲まれ避難所がない地域がある。ここへの災害時の対策は考えているか。

総務部次長兼安全安心課長 市民には、テレビやラジオなどの気象情報により早めの対応をお願いし、避難所については、今後検討していく。

他に、ごみ減量への努力を求める質問、国保税額を引き下げる努力を求める質問もしました。

・ごみ減量



・国保税引き下げ



問 放課後子ども教室は、美和地区の4小学校でも実施されているが、そのことが計画素案には記載がないが、福祉部長 各小学校にて実施しており、場所が特定されていないため記載しなかった。

子育て支援課長 市民に誤解を招かないよう備考欄などへ記載を検討する。

問 秋竹小学校を宝小学校に統合するとされているが。

教育部長 現段階では廃止を含めた動きは一切ないが、他の小学校に統合することも一つの方向性と捉えている。

学校教育課長 市民に誤解されないよう備考欄などへ記載を検討する。

問 公共施設の総延べ床面積が25%削減されるのはいつか。

企画財政部長 目標は、2066年度。

問 公共施設統廃合後、七宝地区における避難場所の確保は。



統合計画のある七宝保健センター

## 市の行政サービスについて



橋口 紀義 議員



タ1、篠田防災コミュニティセンター、美和情報ふれあいセンターは、月に1、2回点検。利用者から異常の報告を受けた場合は、随時現場を確認し、対応している。

問 駅前広場や公園、河川の堤防道路、遊歩道などの点検と維持管理はどう対応しているか。

建設産業部長 日常的な点検と軽微な修繕は職員が行い、専門性の高い点検と維持管理は業者に委託している。また、ボランティアにもお手伝いをお願いしている。

問 市行政の核となっている「協働のまちづくり」について、市民や各地域団体、ボランティア団体との相互理解や連携はうまくできているか。

企画財政部長 市民活動センターを拠点として、市民団体、ボランティア、企業など団体間の橋渡しや助言により連携している。また、市民活動祭「あまのわ」を毎年開催し、活動発表と交流を通じて市民へ広報、周知している。昨年度より各地域コミュニティ協議会を集め、情報交換会を行っている。

問 市民活動センターの駐車場を隣接する交番や消防署に開放し、オープンに利用できるようにしたらどうか。

企画政策課長 相互に連絡をとり、柔軟に対応する。

問 指定管理者がない施設は、月にどれくらい現場確認しているか。

企画財政部長 正則コミュニティセン



七宝産業会館内にある市民活動センター

# あま市行政の人事体制について



山内 隆久 議員



対する考えおよび、行政区との関わり方は。

**人事秘書課長** 来年度中に策定予定の定員適正化計画では、採用も含め年代に大きな偏りが生じないよう検討する。また、外部委託などは指定管理者、委託者と連携を図り、市民サービスの低下を招かないよう努める。

**総務課長** 災害時の地域の役割は大きいですが、さまざまな原因で役員の担い手不足が危惧されている。市としても、地域コミュニティの中心的な役割を担う区の活動を支援していきたい。

**問** 分権型社会における住民サービスの向上と住民自治の充実に向け、①今年度末に多くの管理職が定年退職するが事務遂行の点で不安だが。②多くの行政課題に限られた人員でいかに対応するか。③外部委託についての考えは。④市と行政区との関係は。

**企画財政部長** ①重点事業、懸案事項が確実に引き継がれるようにする。②社会環境変化で多様化、高度化する行政ニーズに効果的に対応できる組織機構についても研究していく。③指定管理者制度の導入により民間の能力やノウハウを活用し、よりよい市民サービスに努めたい。

**総務部長** ④行政区は地縁団体であり区長はその代表者。現行、区は市の下部組織ではないが、補完性の原理により協力して地域課題に取り組んでいく。

**問** 今後の職員構成や外部委託などに



# あま市の障がい者福祉について



足立 詔子 議員



フェアを年1回開催している。③保育所等訪問支援利用体制の構築については、民間事業所がサービス提供をすでに実施し、一定の整備がされた。その他の項目については、3カ年の計画期間内で目標達成に向けて、現在協議を進めている。

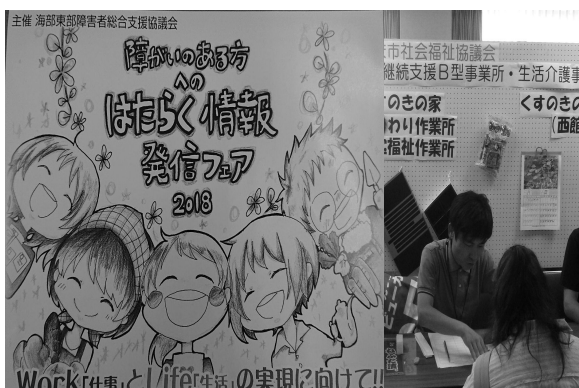
**問** 障がい児者の介護者に対する利用料免除を、市体育施設条例にも明記すべきでは。

**スポーツ課長** 今後、条例または規則で明記するよう検討する。

**問** 30年3月に障がい者計画などが発表されたことに関連し、①障がい児者の施設利用における同行者への補助は。②障がい者の就労支援は。③市障がい児福祉計画などの進捗状況は。

**教育部長** 市体育施設条例に、七宝・甚目寺総合体育館のトレーニング室の利用について、障害者手帳を提示した場合、本人は無料との記載はあるが、介護者についての記載はない。利用者に補助が必要な場合は、介護者一人に限り、無料で同行していただいている。

**福祉部長** ②主に障害相談支援事業所で相談を受けている。一般就労を目指す場合は、職業安定所や就労移行支援事業所などの連携を図り、相談者の希望に最大限沿えられるよう努めている。また、大治町と共同運営する海部東部障害者総合支援協議会主催で、障がいのある方へのはたらく情報発信



“障がいのある方へのはたらく情報発信フェア”

まち・ひと・しごと創生総合戦略は



横井 敏夫 議員



に進んだ取り組みができればと考える。  
**問** まちづくりにおける戦略の役割は。  
**企画財政部長** 国の4つの基本目標【注2】を共有し、市総合計画と整合性を図り、市の特性を生かした施策や具体的な事業を掲げ、市を挙げて取り組んでいる。

**問** 市長はこの戦略の延長線上に、どのような市の未来を描いているか。

**市長** 将来の市民が愛着と誇りを持ち、生き生きと暮らしているまちづくりの展開をする。そのための地域の活性化は人だという認識をしており、そのような政策を行っていききたい。

【注1】KPI：重要業績評価指標のこと。施策ごとの実現すべき成果に対し、進捗状況を検証するために設定する客観的な指標。

【注2】国の4つの基本目標：①地方にしごとをつくる、②地方への新しいひとの流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④時代に合ったまちをつくる。

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略（戦略）は、本当に有効であったか。  
**企画財政部長** KPI【注1】について効果を検証。達成、効果の上昇が約8割あり、戦略の効果があつたと認識。  
**問** KPIの達成状況の分析は。  
**企画政策課長** 毎年度ノウハウを蓄積、改善を図り、対象者のニーズに寄り添えたことが実績につながつたと分析。  
**問** 今後の展開は。  
**企画財政部長** 来年度までは現戦略のKPI達成に向けた施策の推進に努め、次期戦略は現戦略を総点検し、社会情勢や市民意識の変化をしつかり捉え、より踏み込んだ内容となるよう審議。  
**問** 次期戦略は、具体的にどこまで踏み込んでいくか。  
**企画政策課長** 学生、民間団体、企業などが互いに連携してまちづくりができる仕組みを検討。情報発信からさら

インフラ整備について



山本 雄一 議員

・財政状況



・インフラ整備



が悪化する見通し。この状態でインフラ整備ができるか。

**財政課長** インフラの計画的な整備ができるよう、公共施設等総合管理計画の推進や大型事業見直しによるコスト縮減、企業誘致による法人住民税の増収など行財政改革に取り組んでいる。

**問** 平成29年度一般会計予算額は約280億円、そのうち、道路修繕予算額は1億4800万円。平成30年度一般会計予算額は約300億円で、道路修繕予算額は9700万円。毎年2キロ程度しか舗装できていない。この予算額で十分か。  
**建設産業部次長兼土木課長** 国の補助金制度が変わり予算が減額された。今後も国の動向を見て補助金を活用する。

財政状況について

**問** 市の中期財政計画に新たな財源の確保とある。一つに都市計画税導入もあるかと思うが、導入の前には無駄な支出をなくす必要がある。①無駄な支出をなくす努力は。②新たな財源とは。③新たな財源を確保した場合、インフラ整備は十分になされるか。  
**市長** ①無駄を省くための行財政改革はずつと続けている。②広告収入、遊休資産の活用や売却、また都市計画税の導入も検討している。③人口増や企業誘致のためにもインフラ整備は着実に進める。

**問** まちづくりを考えたとき、インフラ整備が進まないこのまちに住民が住み続けたいと思うか、企業が進出しようと思うか、その観点から今後のあま市を考えていく必要がある。10年後に市の借金は100億円増、貯金は50億円減、トータルで150億円財政状況

# 道路整備について



宮地 直宣 議員



**問** 市道整備の計画は。また、白線の整備状況は。

**建設産業部長** 道路照明灯などの道路構造物の点検を市内の幹線道路および公共施設周辺道路で実施し、調査結果を基に必要な箇所を順次舗装修繕している。また白線の整備は、舗装維持修繕工事に合わせて、区画線の引き直しも実施している。

**問** 限られた財源の中で、修繕方法の工夫は。

**建設産業部次長兼土木課長** 現在は、路面から全てを打ち替える工法で施工している。舗装状況などを十分考慮し、適切な施工などで整備するように努める。また、今後も国や県の補助金を積極的に活用し、財源確保に努め、整備を進めたい。

**問** 通学路の修繕箇所の把握は。  
**教育長** 学校、PTA、地域からの要



白線の消えかかった道路

望も含め、おおむね把握している。  
**問** 都市計画税を導入して道路整備を含めたインフラ整備を十分行つて、あま市の魅力や価値を高める考えは。  
**市長** あま市は、海部地区の玄関口でもあり、企業を誘致し、人口を増やし、土地の価値を高めるためにも道路整備は重要であり、総合的なシティープロモーションが必要。都市計画税導入については、人口減少、少子高齢化による税収減少などの負の連鎖が生じないよう計画的に検討しなければいけない。

## 一般質問のQRコード掲載について

### スマートフォン、タブレットなどで手軽に各議員の録画映像がご覧になれます!

各議員の顔写真の下にQRコードを掲載しています。このQRコードをスマホやタブレットで読み取ると、議会映像配信サイト内の該当ページにアクセスし、その議員の一般質問動画をすぐに視聴することができます。



〇〇 〇〇 議員



タイトル

#### 留意点

- ※視聴の際のデータ通信料は、ご自身の負担となります。
- ※QRコードを読み取るためのアプリが必要です。
- インストールされていない方は、インストール後にご利用ください。

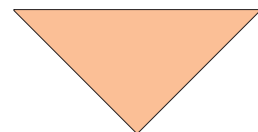
# 追跡 一般質問

## その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

### 質問

平成29年10月に発生した、台風21号により被害があった土吐川の今後の対策は。



### こうなった

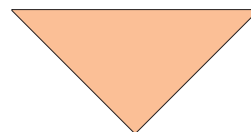
宮田用水土地改良区施工により、平成30年3月までに堤防補修工事が完了した。



補修工事の終わった土吐川堤防

### 質問

身体障害者手帳の交付とならない軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入などの助成は。



### こうなった

平成30年4月からあま市軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業実施要綱に基づき、支給事務を開始している。広報、小中学校へのチラシ配布などにより周知・啓発を実施した。

